



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	ご挨拶
Author(s)	齋藤, 勝
Description	第一部: 第6回観光創造フォーラムの記録. 講演録
Relation	次世代まちおこしとツーリズム : 鷺宮町・幸手市に見る商店街振興の未来 = Community Development and Tourism for the Next Generation
Citation	CATS 叢書, 4, 9-9
Issue Date	2010-03-20
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/42915
Rights	© 2010 齋藤勝
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/
Type	departmental bulletin paper
File Information	CATS04_002.pdf



ご挨拶

齋藤勝（鷺宮町商工会会長）

皆さん、こんにちは。本日はようこそ鷺宮町へおいで下さいました。大勢お集まりいただきありがとうございます。小さな商工会の会長でございます。ここで北海道大学並びに鷺宮町商工会、幸手市商工会と共同で第6回観光創造フォーラムを開催できますことを、大変嬉しく、感謝を致しております。昨年7月から北海道大学観光学高等研究センターとの共同研究を展開して参りました。その結果をCATS叢書第1号という、非常に具体的な形でまとめていただき、商工会といたしまして本当に感謝致しているところでございます。お陰様で日本全国さらには海外にまで、こうした情報が発信されております。

ご存知のとおり、本年（2009年）の鷺宮神社の初詣客は42万人。埼玉県第2位ということでございます。この42万人という数は、対前年比で40%の増です。ちなみに第1位は大宮の氷川神社。これは桁外れで203万人ですが、対前年比では0.1%の増でしかなかった。それから第2位。鷺宮神社と同じ、42万人の川越の喜多院。ここは対前年比で増減無しです。鷺宮神社で如何に初詣客が増えているかを表しているかと思えます。私どもは、せつかくこのように全国から多くのファンの皆さんにお越しいただいているからには、是非鷺宮町で、皆さんに何か感じ取ってもらえることがあったらと考えております。商工会職員でこうしたことを話し合いまして、職員一同、寸暇を惜しんで様々な取り組みをしております。本当に優秀な職員が、ドラマや痛車コンテスト等、頑張っておこなって企画・実行しているところでございまして、先程も、川越は「小江戸」という名前で売っておりますけれども、鷺宮は「萌えど」という名前がいこうと決まったところでございます（笑）。

現在、日本の経済並びに政治は非常に疲弊致しております。こうした時期にこのフォーラムを開催し、楽しい話題で今後の観光の在り方を語り合えることに、心から感謝を申し上げます。

大変簡単ですがご挨拶といたします。ありがとうございました。